

セッション4 分科会5：
AI等の技術革新と教育・人材育成について考える

自然と人を紡ぎ直すICTの活用 リアルとバーチャルの相互補完

東京大学大学院農学生命科学研究科
森林科学専攻 森林風致計画学研究室 助教

中村 和彦

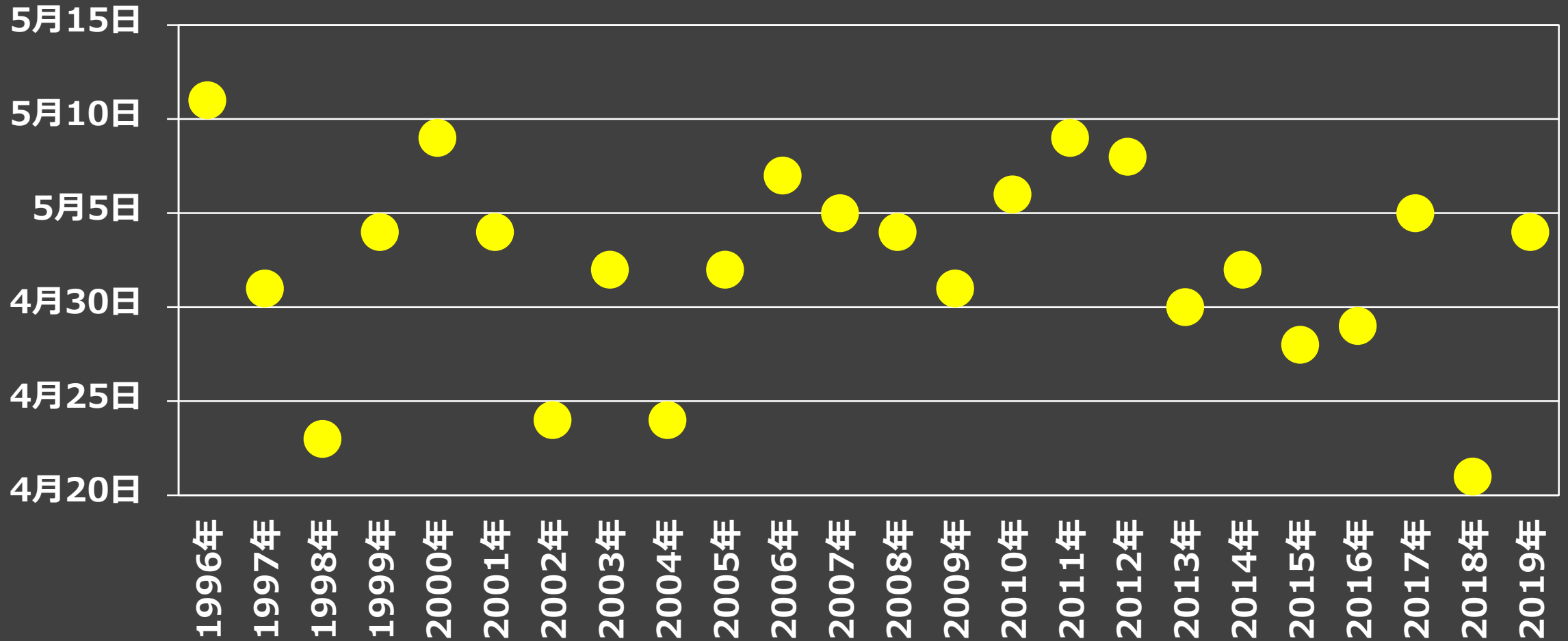
サイバーフォレスト：森の感性情報アーカイブ

画像と音をインターネット配信しつつ記録し続ける

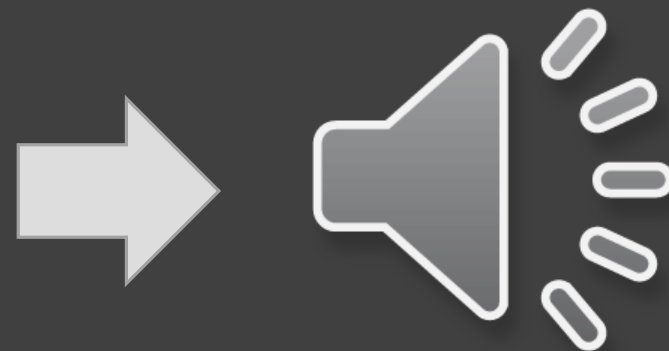


東京大学秩父演習林などで1995年から継続中

秩父演習林カスミザクラ満開日の推移



録音による自然体験の振り返り



- あまり音を意識してなかったけど、言われてみれば水の音や、鳥の音が聞こえていました。今度はもっと森の音に耳を傾けてみたいです。
- 昼食の時もしゃべっていて聞こえなかったけど、色々な虫の鳴き声が聞こえていたんだなとわかりました。

自然体験と技術革新の歴史的関係

1854年



H.D. ソロー
『ウォールデン』

1877年



T.A. エジソン
蓄音機



2007年



S. ジョブズ
iPhone

自然と人を「紡ぎ直す」

- サイバーフォレストは新たな自然観察の手段
→ 従来とは異なる自然と人の関係が浮かび上がる

単に“繋ぐ”というほど安易なものではなく
その意義を一步一步確かめながら
丁寧に“**紡ぐ**”という表現がより適切ではないか

教育も「紡ぎ直す」ことを考える

- 自然と人の関係が変わる → 教育も変わる
- 大人（親・教師など）も子どもと共に学ぶ姿勢
- 技術革新のメリットとデメリットは表裏一体
→ “変わる”ことを受け入れるかどうか（cf. 囲碁）
- AI：人間らしさを確認・追求するための道具